

奈須玄由緒書

奈須家資料

五三



490289
No-58

由緒書



富士川文庫
412

No. 490
F-71

高六石 不國山城
生國武茂

赤須玄盛

赤須玄

赤須玄竹法平

右徳院様御代元和八年月日不知事 呂出市切采

式百俵 下重市側市公相勤月九年月

大猷院様御代不知事 市某差上御快事二月廿八日

上意 市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

月十七日

巖有院様御代不知事 市某差上御快事二月廿八日

法平 市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

以供仕 市中御用 市某差上御快事二月廿八日

坂田加賀守殿病 市某差上御快事二月廿八日

快事 市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

何部豊後守殿 市某差上御快事二月廿八日

別 市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

仕 市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

不知上林町町屋 市某差上御快事二月廿八日

二寅年二月廿八日 市某差上御快事二月廿八日

市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

舊居仕 市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

市某差上御快事二月廿八日 不知法眼 市某差

不知上林町町屋敷三百廿九坪拜領仕所實文
二寅年二月廿日加増武州一條飲青柳村知行
書之有石拜領仕所同六年清不例一書由某
先上清快之書加増之書中辭退中上付
舊居仕所近年一由信之茶壺拜領仕所同七年
清不例一書由某先上清快之書由某自某
之書由某先上清快之書由某自某
上聞清苦勞之書思良者松平因懷書直筆之
書由某先上清快之書由某自某
及之同九年二月廿日由裏口通以臺所上
戶之外近乘騶 清免之方松平因懷書松平
民於少補取板倉筑後守殿永井伊知守殿土井
能登守殿由連名之書由某先上清快之書由某自某
年考由某先上清快之書由某自某
若年考由某先上清快之書由某自某
子共子世仕所孫春竹傳嫡孫承祖之於臺
之年月日不知之通隱居之書由某先上清快之書由某自某
三月俵之小五時之登城 清脈相伺也之書方
由用之書由某先上清快之書由某自某
廿七日病死仕所

高祖父

孝順言行法眼

嚴有院樣所代延室六巳年十月六日部屋仕所書來
書卷献上清目見仕年始之書由某先上清快之書由某自某
居出同年十月日不知家督之相透之書由某先上清快之書由某自某
書由某先上清快之書由某自某
常憲院樣所代元禄十巳年十月六日法眼之書由某先上清快之書由某自某
有德院樣所代享保十六巳年四月八日病死仕所

曾祖父

孝順言行法眼

有德院樣所代享保七巳年六月十日部屋仕所書來
書卷献上清目見仕年始之書由某先上清快之書由某自某
同十六巳年七月六日家督之相透之書由某先上清快之書由某自某
居出同年十月日不知家督之相透之書由某先上清快之書由某自某
書由某先上清快之書由某自某
同十六巳年七月六日家督之相透之書由某先上清快之書由某自某
居出同年十月日不知家督之相透之書由某先上清快之書由某自某
書由某先上清快之書由某自某



一 曾祖父

志須玄筑

有德院様御代享保七重年六月十日初登任初寺東
 寺卷献上御目見仕年始初御月以礼務
 同十六重年七月六日家督之相違事 卜玉寄金
 活成御事 御作後之由姓名相知事 卜同
 十二月廿日寺東寺卷献上家督之由礼中上同
 十七重年十月廿日元祖玄竹法下雷除解毒丸
 拜領之由緒 御尋之旨如御遠江寄御作後
 右某方封下之由先上小寄同古九月正麥由緒事
 思良此後御方先規之通玄筑家之由願事
 旨遠江寄御作後之由同年十二月十日番醫師
 御作付御作後之由姓名相知事 卜男子子也
 付内田玄壽以男春竹御作之通聲卷字事

作付

博信院様御代宝曆二年六月廿九日初之通口番御免
 之有松平宮内少輔殿御作後同六年九月二日
 病死仕事

祖父

志須玄筑

博信院様御代寛延三年十二月廿六日初登任御目見
 仕年御初御月以礼務出初宝曆六年正月
 四月家督之相違事 卜玉寄金於某之由老中御免
 西尾原波寄殿御作後事合孫成小同六年二月十日
 寺東寺卷献上家督之由礼中上同年十二月十日
 御番醫師御作後之由姓名相知事 卜同
 卜同五年四月二日初之通口番御免御作後
 之由姓名相知事 卜玉寄金於某之由老中御免
 後才玄忠御急聲卷字事同年閏十二月
 廿二日病死仕事
 △明和元年正月

父

志須玄真

俊明院様御代明和元年閏十一月廿七日卷父玄筑御免
 御作後之由姓名相知事 卜玉寄金於某之由老中御免

後才去志... 病死仕... 明和元年十月

父

京漢吉真

俊明院様代明和元年閏十月七日養父吉真誠武百石

玉川通福式之相凌... 列在松平周防守殿

八月十三日寺來寺乞執上家督... 以聲養子

離家實父芭竹... 大御前様代實政三年九月九日

不臣相相... 代考公席... 兵部大輔殿

入同... 作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

作... 普傳能... 於... 通再聲養子

大市市様御代寛政八年四月三日卷父吉真誠武有石

只百の拾石石下玉肯於第之官老中列在十人因

采女に教へ作候如又時小普信能巨勢力与在常門

東院に講相模寄支配之節因十年七月五日

家傳雷除解毒丸之節方御用二付先上机松平

伊豆守殿四石石之終海に相模寄中候に付同月

五日有某方之字封市之以上同土未年四月

三日家方是齡丹款上年如礼中上同年八月

六日業出精之終一候行出精仕机松平

伊豆守殿上作候に海相模寄中候に因年十月

十日也普醫問上作付肯於四右筆に録縁類松平

伊豆守殿上作候に因十二年九月廿七日校仕捧

心方残本三卷献上仕因月晦日右書籍是上に付

詳に相言作付肯於四右筆に録縁類京極

備前守殿上作候白銀三枚頂戴仕享和元年

九月二日先上御参上付是録に先肯於四右筆に

縁類京極備前守殿上作候に後四石石に友打勅

因二年十月廿日家業出精に付父時一書に成上肯

於四右筆に録縁類老中四列に牧時備前守殿上

作候に百石石に成川文化に外年十二月廿日市市

石原形に連屋敷に下肯京極備前守殿上作候に

因八年八月廿九日當外無代官に向に付上京仕

是迄在下に採用意の致肯極村致河守殿上作候

因九右筆に京都市に領物に作付肯於

四右筆に録縁類土井大膳致殿上作候金司致

時殿二項戴仕四年十月十日於中候に稱候有に

御目見申上同七年十月十日先上御参上

上作候に助も有に二付也普所免考合に作付

肯於四右筆に録縁類牧野海守殿上作候に

卷方伯母聲也番外科因田東の勢に絶に

文政十三寅年七月十日通塞に作付肯水野

出羽守殿に因に於評定而方月分檢田德吉

中渡同年十月廿九日通塞御免に肯於因而

心方残年三卷就上仕因月晦日右書籍是上中付
 詳有指言作付有指於右筆初在縁類京極
 備前少殿上作後月銀三枚頂戴仕信享和元年
 九月二日先由山祿登山付是湯上並首於山右筆登
 縁類京極備前少殿上作後月是後日先湯上右筆類
 因二年八月廿二日家業出籍付父時一高成十首
 於山右筆縁類京極中列是牧地備前少殿上
 作後月是石多。作成文化中元年十二月廿二日而
 石原初。通屋敷。小首京極備前中少殿上作後
 因八九年八月廿九日當命。無代言中向。付上京仕
 是後在下。採用意。被上青極村被河書殿作後
 因九。京都。中。作付有指於
 中右筆初在縁類。土井大始政。作後金司被
 時服二。載仕同年十月十六日於山納。稱後有
 作目是。上。同七年十月廿九日光山。祿分
 上作。山。勸。有。付。中。首。所。免。考。合。中。作付
 首。中。右。筆。初。在。縁。類。牧。野。被。前。少。殿。上。作。後。中
 卷方伯母聲。中。番。外科。因。因。東。助。形。以。絶。意
 文政十三。寅。年。七月。十日。通。塞。中。作付。有。指。水。野
 出。羽。高。殿。中。通。中。於。評。定。而。方。月。付。織。田。備。前
 中。渡。前。年。十月。廿。九。日。通。塞。中。作。付。有。指。因。而
 因。人。中。渡。中。

山

身全醫作

大系須去盛



... 藥性... 功效... 治... 症...

... 藥性... 功效... 治... 症...

... 藥性... 功效... 治... 症...

... 藥性... 功效... 治... 症...

... 藥性... 功效... 治... 症...

... 藥性... 功效... 治... 症...

... 藥性... 功效... 治... 症...

... 藥性... 功效... 治... 症...

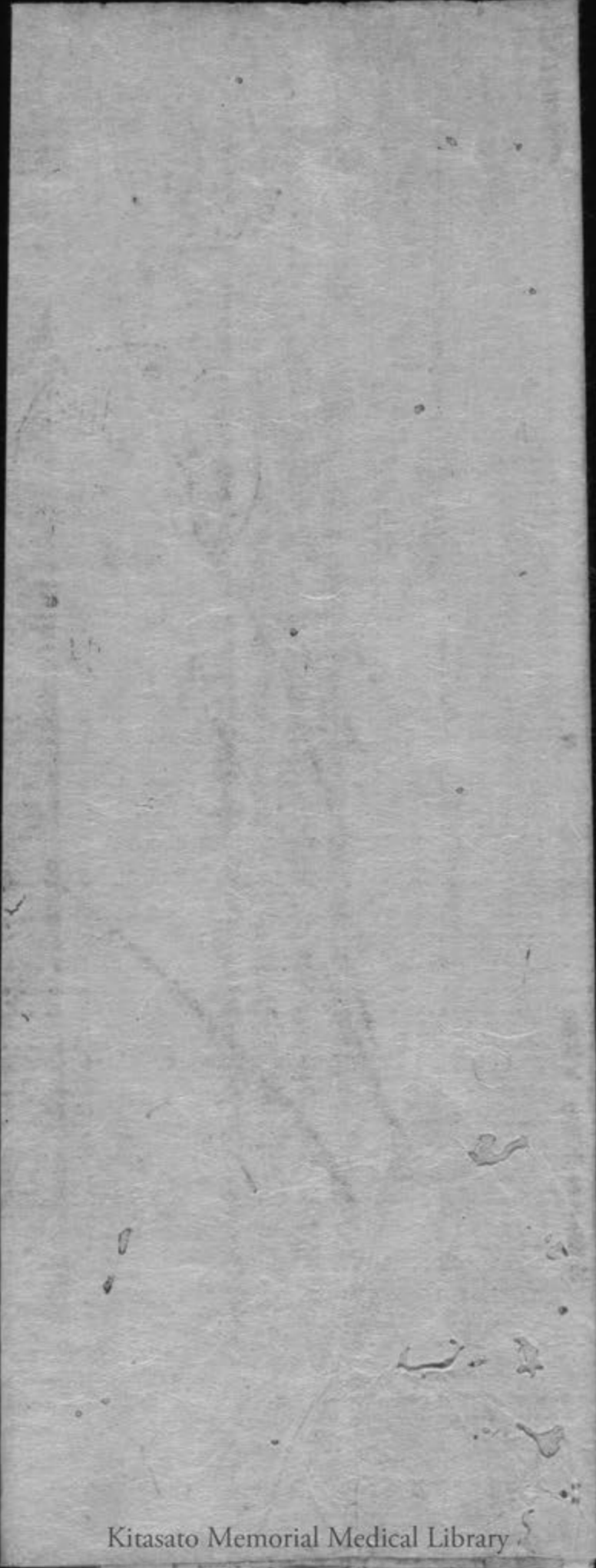
... 藥性... 功效... 治... 症...

... 藥性... 功效... 治... 症...

... 藥性... 功效... 治... 症...



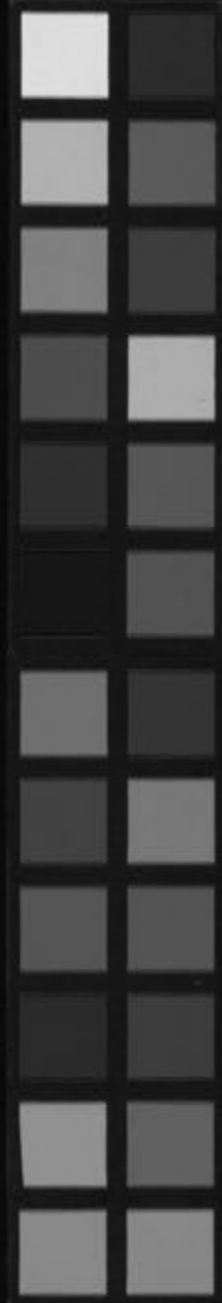
415

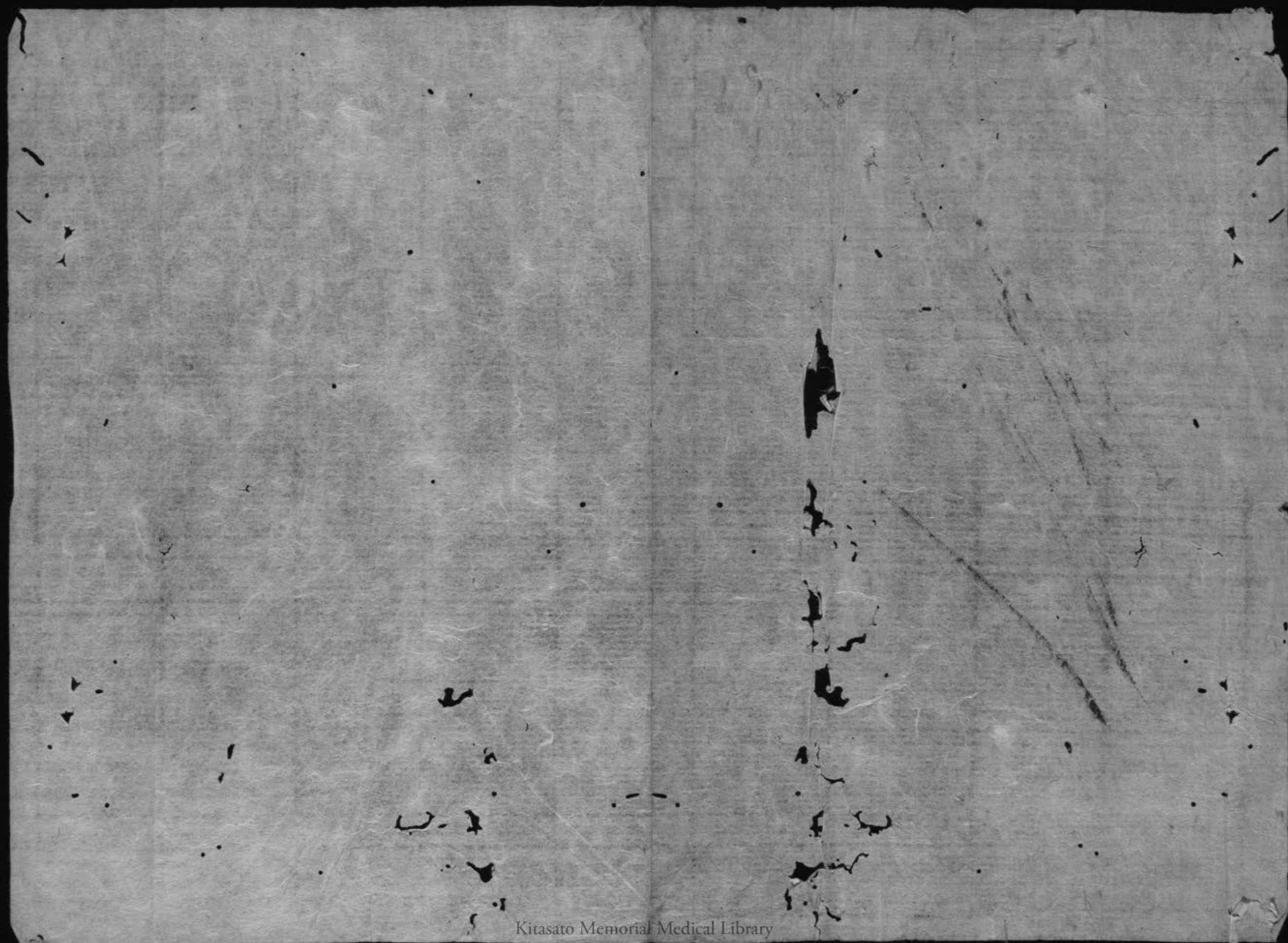


Kitasato Memorial Medical Library

6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100





Kitasato Memorial Medical Library



490,289
Na₂

高又白石

由卷

寛政八年四月三日
小幡後銀巨野、花少門多紀、
柳平、伊豆、石作、及事、和、
石作、及、文、化、七、年、土、月、
高、白、苗、而、先、考、合、
作、付、多、於、石、筆、部、及、
録、類、校、理、後、前、考、
元、名、玄、竹、文、化、十、四、年、



413
富士川文庫

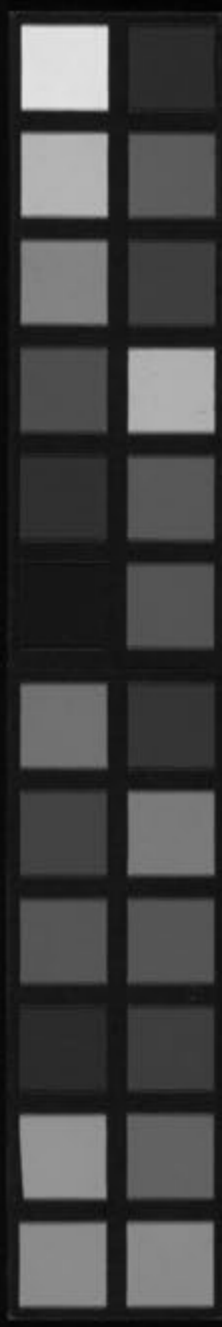
本道

養和文 玄統死 寄合書
義父 去真死 小普法
刑部及附古
寶祖文 田原宗伯死
寶父 田原玄文死 小普法

奈須玄忠

柳二十三年
六月二十三日

殊録、及、小、白、向、染、地、竹、崎、町、
當時、本、取、系、新、所、也、鎮、座、或、位、若、任、不、



5

甲午年
二月
五日
...

Kitasato Memorial Medical Library

